

神奈川県最低賃金審議会 会長 赤羽 淳 様
神奈川県労働局 局長 児屋野 文男 様

意見書

横浜港湾労協は官民の共闘組織として、働きやすい・平和で安全な港を作るために奮闘している労働組合協議会です。横浜港には昨年、1 億トンを超える貨物が搬出入されていますが、その流通を支えるうえで、商社・元請けをはじめ、船会社、倉庫業、港湾荷役業、検数・検定、海上コンテナ輸送など多種多様な労働者が働いています。その中には最低賃金に近い水準で雇用されている労働者もいます。彼らの生活を支えるうえでも最低賃金の大幅な引き上げをお願いします。

現在、国内の流通部門における人手不足が深刻な事態となっていますが、流通において労務費を価格に転嫁するうえで、最低賃金の引き上げはどの業種にあってもその根拠となります。労働者の生活を支えるうえでも、日本の物流を支えるうえでも最低賃金の大幅引き上げが重要であると考え、以下の要望について意見を述べさせていただきようお願いします。

— 記 —

1. 神奈川県最低賃金時間額を「今すぐ時間額 1500 円以上」にしてください。
2. 物流事業者の長時間労働と人手不足問題を解決するうえでも最低賃金の大幅引き上げをお願いします。
3. 物流事業者は全国をまたいで流通を支えています。地方と都市部における賃金の格差は深刻な問題となっており、港湾荷役料金にも地方港と 6 大港で格差が生じています。地方ごとの最賃額の是正や、全国一律最低賃金制度について議論していただき、関係機関に意見を具申してください。
4. 賃金上昇分の価格転嫁の実現をはかる施策の実行や、社会保険料の軽減など中小企業支援策の抜本的強化の実施について、国や関係機関に意見を具申してください。

2025 年 7 月 16 日

横浜港湾労組協議会
議長 三宅 洋

